

2026 年 10 月 13 日
株式会社 Finatext ホールディングス

**Finatext ホールディングス、
2026 年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業」の
新興市場銘柄部門で優良企業に初選定**

AI 時代の金融インフラを提供する株式会社 Finatext ホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:林 良太、証券コード:4419、以下「当社」)は、公益社団法人日本証券アナリスト協会が発表した 2026 年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業」において、新興市場銘柄部門の優良企業に初めて選定されたのでお知らせします。

■「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業」について

本選定制度は、日本証券アナリスト協会が企業の情報開示の促進と向上を目的に 1995 年度から毎年実施しているもので、業種別、新興市場銘柄、個人投資家向け情報提供の 3 部門から構成されています。本年度は、各々、18 業種計 299 社、新興市場銘柄 29 社、個人投資家向け情報提供 30 社が評価対象となり、延べ 500 名超の現役の証券アナリストが評価を実施しました。

ディスクロージャー
新興市場銘柄
2026年度 優良企業



SAA 公益社団法人
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

■当社の評価概要について

新興市場銘柄部門は以下の 5 分野で評価され、総合評価点の上位 3 企業が優良企業として選定されます。

- ① 経営陣の IR 姿勢、IR 部門の機能、IR の基本スタンス
- ② 説明会、インタビュー、説明資料等における開示
- ③ フェア・ディスクロージャー
- ④ ESG に関連する情報の開示
- ⑤ 各業種の状況に即した自主的な情報開示

当社は、②説明会等および④ESG 関連において第 2 位、①経営陣の IR 姿勢等が第 3 位となりました。特に、②説明会等における評価項目「説明資料等(短信およびその付属資料を含む)における開示」が同得点第 1 位となり、これに関連して、収益および財務分析に必要なデータが十分開示されている点や、分析に用いるデータが豊富である点を評価する声をいただきました。

詳細は、日本証券アナリスト協会の選定結果ページをご覧ください。

<https://www.saa.or.jp/standards/disclosure/selectiont/index.html>

■AI 時代に即した IR 開示への取り組みについて

近年、生成 AI を活用して企業分析を行う投資家・アナリストが増加しています。こうした変化を踏まえ、当社では本年度より、財務データや補足情報を AI にも読み取りやすい CSV およびマークダウン形式で開示する取り組みを始めました。AI を事業の中核に据える当社として、今後も AI 時代にふさわしい IR 情報開示を進めてまいります。

【参考リンク】

- ・ [株式会社 Finatext ホールディングス IR サイト](#)

以 上

【Finatext グループについて】

Finatext グループは、「金融を“サービス”として再発明する」をミッションに掲げ、AI 時代の金融インフラを提供する企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ナウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」、貸金サービスに必要なシステムや業務を一気通貫で提供する「株式会社スマートプラスクレジット」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。



会社名	:	株式会社 Finatext ホールディングス
代表者	:	代表取締役社長 CEO 林 良太
証券コード	:	東証グロース市場 4419
設立	:	2013 年 12 月
所在地	:	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
公式サイト	:	https://finatext.com/